

次期北海道がん対策推進計画素案（たたき台）について頂いたご意見について

資料 1

令和5年9月22日に開催した、北海道がん対策推進委員会がん検診専門部会（書面開催）開催の結果、各委員から次のとおり意見の提出がありましたので報告します。

委員名	ページ数	意見	回答
加藤部会長	20	がん検診の目的はがん死亡率の減少ですが、それ以外のメリットも記載する。早期発見早期治療である早いステージのがんで見つかることで、死亡率だけではなく、その人の健康寿命の延伸、がん治療にかかる総費用を減少させることができる。また、がんによる経済負担として休職や通院による経済損失も抑えることができる。	がん検診については、国の基本計画に沿った形で、記載をさせていただいております。具体的ながん検診の受診促進を図る段階で、関係機関の皆様と連携して、死亡率以外のメリットについても啓発して参ります。

次期北海道がん対策推進計画素案（たたき台）について頂いたご意見について

資料 1

令和5年9月22日に開催した、北海道がん対策推進委員会がん検診専門部会（書面開催）開催の結果、各委員から次のとおり意見の提出がありましたので報告します。

委員名	ページ数	意見	回答
加藤部会長	20	<p>北海道のがん検診受診率については、ワースト1が肺、大腸で、ワースト2が子宮頸がん、乳がん、ワースト3が胃で受診率が低すぎます（都道府県別順位）。広域な北海道は受診機会と言う面で不利な点がありますが、地方と比べて有利な札幌市が道内での最低近い数字です。</p> <p>ここ3年はコロナ禍で受診率がさらに低下した面はありますが、当協会のデータでは昨年度でがん検診の受診割合はコロナ禍前に戻っています。人口減と高齢化がコロナ禍前の受診者数に戻らない原因です。</p> <p>受診率を上げる具体的対策を考える必要がある。</p> <p>① 特定健診との同時受診の普及：自治体によってはできていない所がまだある。自治体の意識改革、検・健診を請け負っている施設間の調整など道が指導力を発揮する。</p> <p>② 受診機会の増加：巡回で行く自治体は少なくないが、1日の受診者が減ってくると検・健診日数を減らすしかない。そうすると益々受診機会が減るので受診者数は確保できないジレンマになる。受診者の減っている自治体は近隣の自治体と協力して2カ所同時の巡回検診を薦めている。しかし、自治体に任せてもそのような動きは非常に鈍い。道が指導力を発揮して調整を促す。</p> <p>③ 職域検診で行うがん検診：職域検診でのがん検診実施率は不明のままである。それは道内企業にアンケート調査をして、がん検診実施が不十分なところには指導力を発揮する。</p> <p>④ 無料クーポンの発行：各自治体でのクーポン利用率に差があるので、利用率の低い自治体に聞き取りを行って受診率を上げる助言をする。無料クーポンで受けられる機会を増やすことはできないのか。</p>	<p>特定健診との同時受診の普及・受診機会の増加につきましては、各自治体の実情を把握し、道として推進できるよう努めてまいります。</p> <p>職域で行うがん検診につきましては、北海道がん対策サポート企業をはじめとして、道内企業の現状把握に努め、多くの企業等に対して普及啓発の取組を推進してまいります。</p> <p>無料クーポンの発行につきましては、各自治体の実情を把握し、道民向けに周知するなど、クーポン利用率の向上を推進し、検診受診率の向上に繋げるよう努めてまいります。</p> <p>未受診者に対するコール・リコールにつきましては、国において各自治体の好事例をまとめた受診率向上施策ハンドブックを発行しており、道内市町村に周知しているところです。今後、道内自治体の好事例につきましても共有を図りたいと考えております。</p> <p>がん検診の啓発につきましては、YouTubeやX（旧Twitter）などのSNSを通じた発信や関係団体や企業と連携した取組を進めているところです。今後、より効果的な取組になるよう、関係団体等と協力し検討してまいります。</p>

次期北海道がん対策推進計画素案（たたき台）について頂いたご意見について

資料 1

令和5年9月22日に開催した、北海道がん対策推進委員会がん検診専門部会（書面開催）開催の結果、各委員から次のとおり意見の提出がありましたので報告します。

委員名	ページ数	意見	回答
		<p>⑤ 未受診者に対するリコール：リコール率の成績は出ているのですか。出ているのであれば高い自治体をモデルとしたマニュアルを作成して各自治体に配布する。自治体のランクを発表する。</p> <p>⑥ がん検診の啓発：色々なマスメディアを通じて発信していくしかないですが、道内タレントを使うなどのアイデアはないですか。最近では保険会社ががん検診に力を入れ始めているので、タイアップはできないでしょうか。保険会社とはwin winの関係かと思います。</p> <p>⑦ がんが死亡率の一位を占める中、多くの労働者が労働安全衛生法に基づき実施する健康診断にがん検診を盛り込むことが必要と考えるが、この制度改正が速やかに実施できないとするならば、がん検診の受診率がワースト三位に入る北海道として、働いている方々が仕事への影響を心配することなく、安心して市町村が実施するがん検診を受診できるよう、特別休暇の一つとして、がん検診休暇制度の創設を道内の企業・団体等に積極的に働き掛けてほしい。</p>	<p>がん検診に係る休暇の取扱につきましては、企業等において導入が進むよう、労働局、産業保健総合支援センター等と連携して対応してまいります。</p>
磯部委員		<p>喫煙対策に関して： お金と人を使って本気で行うならば、成人の禁煙対策ではなく、未成年の喫煙対策・最初からタバコに接しない教育の推進が有益だと信じています。</p>	<p>未成年の喫煙対策については、道立保健所において、小学生の児童等を対象に講座を実施しているほか、DVDなどの健康教育資料の提供を行うなど、引き続き、関係機関とも連携して取組を進めてまいります。</p>

次期北海道がん対策推進計画素案（たたき台）について頂いたご意見について

資料 1

令和5年9月22日に開催した、北海道がん対策推進委員会がん検診専門部会（書面開催）開催の結果、各委員から次のとおり意見の提出がありましたので報告します。

委員名	ページ数	意見	回答
磯部委員		<p>検診受診について：</p> <p>検診受診者を増やす施策は今後も重要ですが、現場では精検受診率向上（90%以上、もちろん100%を目指して）が極めて大切であることを認識していただきたいと思います。</p>	<p>精検受診率につきましては、今年度においてもがん検診事業評価向上研修会を実施し、重要性を周知しているところです。</p> <p>今後は、より医療機関向けの内容の研修企画するなどして、精検受診率向上に努めてまいります。</p>
居林委員	20、21	<ul style="list-style-type: none"> ・「<施策の方向>① 受診率向上対策について」 ・「<主な取組>① 受診率向上対策について」 <p>札幌市のがん検診の受診者は、新型コロナウイルス感染症の拡大期に集団検診を一時的に中止した影響を受けて減少しました。その後回復する傾向が見られますが、令和4年度に実施した国民生活基礎調査をベースにした受診率は前回調査（令和元年度）結果を下回っており、コロナ前の水準までは回復していません。</p> <p>他の健診等にも同様の傾向があると思われますので、がん検診の受診率の改善や向上にはこれらの検診（健診）事業や健康推進の諸事業と連携して、道民の健康全般の意識を高める取り組みが望ましいと考えます。</p> <p>特定健診や職域検診は対象者や実施体制が異なるので、連携を図る際にはそれぞれの情報が錯綜して道民に混乱が生じないように、分かりやすさを意識した丁寧な説明と合わせて進める必要があると思います。</p>	<p>コロナ禍における検診受診率の低下は北海道全体の数値にも表れており、全てのがん種において検診受診率が低下しております。ご意見を踏まえ、道としても関係機関と連携し、特定健診と併せた受診率向上のための効果的な取組を推進してまいります。</p>

次期北海道がん対策推進計画素案（たたき台）について頂いたご意見について

資料 1

令和5年9月22日に開催した、北海道がん対策推進委員会がん検診専門部会（書面開催）開催の結果、各委員から次のとおり意見の提出がありましたので報告します。

委員名	ページ数	意見	回答
居林委員	21、22	<ul style="list-style-type: none"> ・「<施策の方向>②がん検診の精度管理等について」 ・「<主な取組>②がん検診の精度管理等について」 <p>札幌市では精密検査の結果を把握する方法として、一次検診を実施した機関が精密検査の結果を確認して市に報告をする体制を採っていますが、要精検数に比べ報告数が少ないことから、要精検者の未報告者リストを定期的に医療機関に送付する取り組みを実施しています。</p> <p>先行して開始した子宮がん検診では精検受診率に一定の改善がみられましたが、医療機関からは精検結果の報告の必要性を認識していなかったという反応も寄せられたことから、精密検査の受診率向上には市民への呼びかけだけでなく、実施医療機関へ精度管理の重要性を周知する等、多方面へのアプローチが必要だと考えます。</p>	<p>精度管理につきましては、今年度においてもがん検診事業評価向上研修会を実施し、重要性を周知しているところです。</p> <p>今後は、より医療機関向けの内容の研修企画するなどして、制度管理の向上に努めてまいります。</p>
居林委員	16	<ul style="list-style-type: none"> ・「<施策の方向>③感染症対策について」 <p>ウイルスの中にはHPVのように多くの方が一般的に感染するものもありますが、道民の方が日常生活の中でウイルスに関する知識を得る機会はありませんので、啓発を通じて必要な知識を道民に広く知っていただければと思います。</p> <p>その際には予防行動だけでなく、感染しなくてもがんになるリスクがあることを合わせて知っていただき、生活習慣の改善、定期的ながん検診の受診といった観点からのがん予防の重要性についてもお伝えいただければと思います。</p>	<p>今後も道民が正しい知識を得られるよう、関係団体、医療機関、患者団体等と連携し、がんに関する知識の普及啓発などの施策を推進します。（本計画第3章に記載を予定しています。）</p>

次期北海道がん対策推進計画素案（たたき台）について頂いたご意見について

資料 1

令和5年9月22日に開催した、北海道がん対策推進委員会がん検診専門部会（書面開催）開催の結果、各委員から次のとおり意見の提出がありましたので報告します。

委員名	ページ数	意見	回答
大川（麻）委員	21	①受診率向上対策について ○道は、市町村、関係団体と連携し、がん検診の意義や正しい知識の普及啓発に取り組み、がん検診の受診促進に取り組みます。 ⇒市町村だけではなく職域の担当者などもがん検診の意義や正しい知識の普及啓発と一緒に取り組まなければならないのではないかと考えます。	職域でのがん検診に対する意義等につきましては、北海道がん対策サポート企業をはじめとして、多くの企業等に対して普及啓発の取組を推進してまいります。
	21	①受診率向上対策について ○道は、コール・リコールなど効果的な受診勧奨の徹底のため、市町村担当者向け研修を行うなど、市町村と連携し、道民が受診しやすい環境の整備に取り組みます。 ⇒職域との連携をしなければ道民が受診しやすい環境の整備は難しいのではと考えます。職場でのがん検診を受ける機会の確保を整備することが必要だと考えます。	職域でのがん検診受診機会の確保につきましては、北海道がん対策サポート会議や企業と連携した取組の場において、普及啓発や周知について推進してまいります。
大川（由）委員	17	個別目標にて6年間で受診率を60%以上とされています。乳がんに関しては、女性の就業率上昇に伴い職域検診を受ける方が増えています。職域検診は受診率に含まれていないかと思われましたが如何でしょうか。対策型検診のみでは60%達成は困難と考えます。職域検診数の把握は、各検診センターから提出頂ければ可能かと存じます。	がん検診受診率は、国民生活基礎調査により把握した受診率を指標としており、職域による検診も含まれております。 引き続き、関係機関と連携して、受診率の向上に努めてまいります。
	20	プロセス指標において、R1末の乳がん検診陽性反応的中度は32.6%でした。突出した数字ですが、ご確認または理由をご教示頂くことは可能でしょうか。	R1のがん発見率の数字に一部誤りがありましたので、別添のとおり訂正させていただきます。
黒蕨委員		全体に、国の第四期がん対策推進基本計画に準じて修正されている点は、国と足並みを揃えて実行していくことを考えると、適切と考えます。	—

次期北海道がん対策推進計画素案（たたき台）について頂いたご意見について

資料 1

令和5年9月22日に開催した、北海道がん対策推進委員会がん検診専門部会（書面開催）開催の結果、各委員から次のとおり意見の提出がありましたので報告します。

委員名	ページ数	意見	回答
黒蕨委員	14	北海道では先駆的に「北海道受動喫煙防止条例」を制定し「北海道受動喫煙防止対策推進プラン」を策定し受動喫煙防止対策取り組んでおり、次期計画に盛り込むことはとても重要と考えます。	たばこ対策につきましては、がん対策においても重要な位置づけとして、一体的な取り組みを進めてまいります。
黒蕨委員	22	<p><個別目標></p> <p>○ 対策型検診で行われているすべてのがん種において、がん検診の受診率を令和11年度までに60%以上とすることを目標とします。</p> <p>○ 精検受診率を90%以上とするとともに、精検未受診率及び精検未把握率を5%以下とすることを目標とします。」</p> <p>目標に対し具体的な施策を検討し、少しでも目標に近づけられる、職域での検診の把握と管理等を行い、具体的な対策を行う必要があると考えます。</p> <p>次期計画素案（たたき台）に関して、変更点等はございません。</p>	道としては、検診受診率を向上させるため、市町村や職域別の関係機関とも連携して取組を進めてまいります。
千葉委員	16	がん対策とたばこ対策を一体的に実施→「取り組むこと」自体もアピールすると、よりインパクトがある。	たばこ対策につきましては、がん対策においても重要な位置づけとして、一体的な取り組みを進めてまいります。
	17	「③感染症対策について」の3つ目「肝炎コーディネーター等の活動の場の促進」→「活躍の場の提供と活動の促進」ではいかがでしょう。	「活躍の場の提供」は「活動の促進」の中に含まれるものであり、同様の趣旨と考えております。

次期北海道がん対策推進計画素案（たたき台）について頂いたご意見について

資料 1

令和5年9月22日に開催した、北海道がん対策推進委員会がん検診専門部会（書面開催）開催の結果、各委員から次のとおり意見の提出がありましたので報告します。

委員名	ページ数	意見	回答
千葉委員	22	企業と一体となった職域でのがん検診の受診促進については、がん検診の精度管理対策もステップアップして、不利益が発生しないようにしなければなりませんね。	精度管理につきましては、今年度においてもがん検診事業評価向上研修会を実施し、重要性を周知しているところです。 今後は、より医療機関向けの内容の研修企画するなどして、制度管理の向上に努めてまいります。
見延委員	17	私の経験ですが、病院・小学校の近くで路上喫煙をする方に止めていただくようお願いしても逆ギレするだけでした。路上喫煙する人間のモラルは相当低いと思います。よって、個別目標にモラルの低い路上喫煙者に対する教育等を盛り込むことはできないでしょうか。	改正健康増進法において、喫煙者には望まない受動喫煙を生じさせることがないよう配慮義務があるため、引き続き、路上においても望まない受動喫煙が生じないように、普及啓発に努めてまいります。
	16	上記に関係ありますが窓口は設置できないでしょうか。	道内保健所では、北海道たばこ対策実施要綱に基づき、たばこに関する相談窓口を設置しており、相談等に対応しております。
	17	HPVワクチン接種反対団体との交渉や教育は必要なのでしょうか。	ワクチン接種に対して、団体や個人により様々な考えがあることは承知しておりますが、道としては、引き続き、適切な情報提供に努めてまいります。